

# 学校だより

小川中学校

No. 1 1

平成27年 7月14日

文責：校長 佐藤正則

## できました、創作花壇！



### JRC委員会頑張る

正門を入ったところにある駐車場脇の大きな花壇を、JRC委員会のメンバーが協力して楽しい花壇に仕上げました。

作業には、生徒会役員や3年生生徒もボランティアとして参加しました。形や配置、色合いや大きさを考えて創るのはとても大変ですが、出来上がりを考え、時間をかけて丁寧に作業していました。実に楽しい花壇になっています。



## 県中学校体育大会陸上競技大会3人入賞

7月7日から9日までの3日間、郡山市の開成山陸上競技場で行われた大会で、本校は3種目に入賞しました。久しぶりの複数入賞です。入賞できなかった種目もとても惜しい状況でした。

大会では、本校のどの生徒も市大会より記録が伸びていて、練習の成果を堂々と発揮したことが、とてもうれしかったです。ただ、他校のライバルたちもそれぞれ好記録を出していましたので、目標としていた東北大会には手が届きませんでした。

その分、誰一人今回の結果に満足せず、7月末に福島市で行われる通信陸上大会で、さらに記録を伸ばし、上位大会を目指そうと決意を新たに帰って来ました。大会ごとに、心身ともにたくましくなっていくと感じています。3年生にとっては、受験に向けた準備とも重なってきますが、こうしたチャレンジ精神と努力は、受験での追い込みですごい力を発揮するものです。それを信じ、応援していますのでこれからもご理解とご協力をよろしくお願い致します。



4種目全てで記録を伸ばした泰希君の高跳び

### 大会入賞者

★男子四種競技

5位 國府田 泰希

★男子400m走

7位 鈴木 龍聖

★男子砲丸投げ

7位 鈴木 颯斗

# 友だち同士、教え合いましょう！

## 学力を上げる秘訣その2

記憶するには  
コツがある



授業では、必要な説明をした後、本当に分かったのかどうかを確認するため、生徒に「自分の言葉で説明させる」ことがあります。これは、理解を確認めると共に、記憶を確実にさせる方法の一つです。

説明しようとする「分かった」と思ったことも、案外曖昧なことが分かったり、自分が「どこがしっかりと理解できていないのか」が分かるのです。友だち同士、「教え合う」ことの大切さがここにあります。

分からないことを尋ねる時も、ただ聞くだけではなく、説明してもらったことをその場で直ぐに「繰り返していってみる」ことが大切です。「自分の言葉で説明」することになる

からです。ここにも「繰り返しの法則」が働きます。

「記憶する度合い」に関するアメリカ合衆国のある調査機関の調べで、右の表のような結果になったそうです。「他の人に教える」とは「自分の言葉で説明する」ことも含みますが、圧倒的に記憶として定着するのです。

一人で勉強している時の記憶するコツは、次の3つです。

|         |     |
|---------|-----|
| 一方的講義   | 5%  |
| グループ討議  | 50% |
| 自ら体験する  | 75% |
| 他の人に教える | 90% |

- 1 **何度も繰り返すこと。** 同じところを3回以上読む、同じ問題を3回は解くなどです。私が高校の時の日本史の先生は「テスト範囲を7回読め、それで十分だ」とよく言っていました。
- 2 **五感を使うこと。** 見るだけより、声を出して読む、合わせて書く、というように視覚、聴覚、触覚などの五感をフルに使うことです。
- 3 **身近な物事とつなげて記憶すること。** 「親」という漢字を覚える時、「親は故郷を離れる子どもを見送る時、木に立って見る」と教えることがあります。歴史では、人物や出来事を覚える時、学級の友だちや家族に置き換え、「〇〇君が、△△さんに、□□した。」というように物語風にします。これは、どの教科でも同じで、そのものをずばり記憶するより、はるかにしっかりと記憶できます。記憶力の良い人のほとんどはこうしたことを初めは意識的に、次第に無意識でしているのです。

## ハンドボール県大会・吹奏楽部支部大会壮行会



ハンドボール部と吹奏楽部の大会での健闘を願って行いました。

吹奏楽部は、大会で発表する曲を演奏しました。音がよく鳴り、演奏への集中力もよく、素晴らしかったです。当日をとっても期待させるものでした。

ハンドボール部は23日、県北1位で昨年の覇者、本宮一中と対戦します。相手に不足なしです。県中体連大会は、

7月22日から24日まで石川町で、吹奏楽部の支部大会は、7月19日、いわきアリオスで行います。

無遅刻連続日数、7月14日現在

**99日**

大台まであと、  
1日となりました。

1学期も今週で終了です。

1年生も学校生活に慣れ、だいぶ中学生らしくなってきました。終業式まで浮つかず過ごさせ、目標を持って夏休みにはいれるよう指導しています。